



## はじめに

Apple Watch Series 2の接着剤を交換します。この作業を完了後、Apple Watchの耐水性は完全に回復しない可能性があります。

### ツール:

- Q-Tips (1)
- スパッジャー (1)
- トライポイントY000 ドライバー (1)
- ピンセット (1)

### 部品:

- 接着剤クリーンアップキット (1)
- Apple Watch (42 mm) 接着ストリップ (1)
- Apple Watch (38 mm) 接着ストリップ (1)

## 手順 1 — ガスケットの掃除



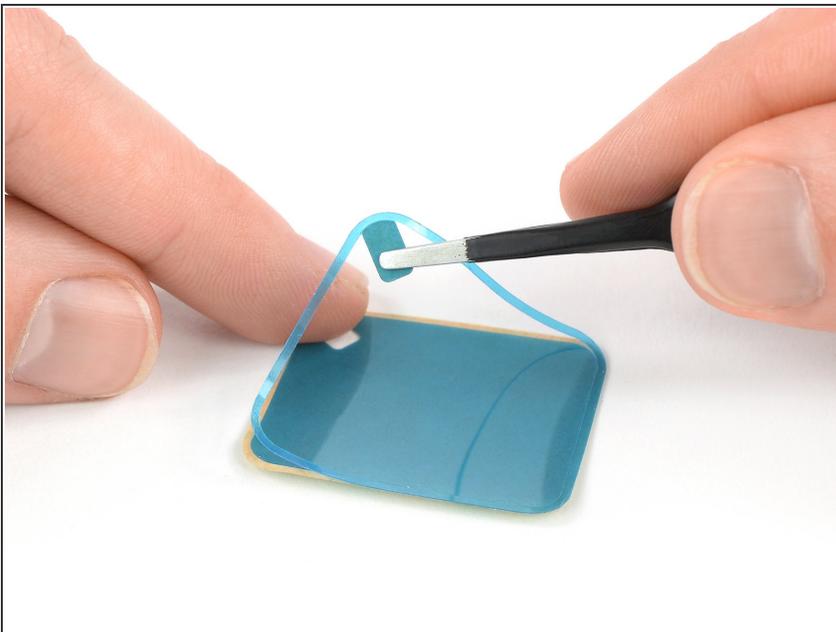
- 少量のイソプロピルアルコール(99%以下)を綿棒の先に含ませて、Force Touchガスケット上部の接着剤の残りを綺麗に拭き取ります。
- ⓘ ディ스플레이ケーブルが搭載されている側の接着剤を剥がすには、ディスプレイを下ろして(ある程度のスペースを残して)、フレームとの間から接着剤を引き抜きます。

## 手順 2 — ディ스플레이の掃除



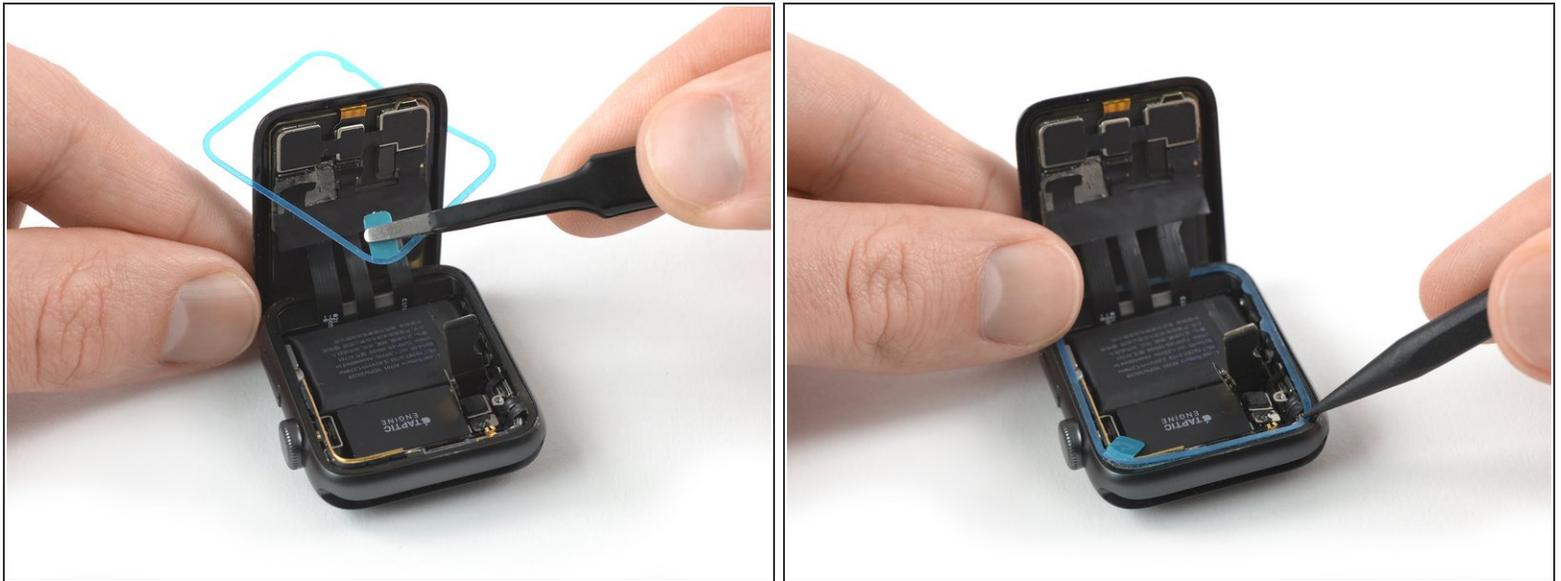
- Apple Watchを上下逆にして、ディスプレイを平らなスペースの上に載せて、ケース側を持ち上げます。
- ディ스플레이の裏側に付着した接着剤の残りを綺麗に拭き取ります。

## 手順 3 — 新しい接着剤を装着します



- ピンセットを使って、ブルーのプロテクターが付いたフィルムを慎重に剥がします。

## 手順 4



- 交換用の接着剤を斜めに持ち、ディスプレイ上に通していきます。
- ディスプレイを前向きに若干傾けると、フレームと接着剤の位置を揃えやすくなります。
- 交換用接着剤をForce Touchガスケットの上に揃えて、先端が鋭利なスパジャーを使って定位置に押さえながら装着します。

## 手順 5



- 先ほどの交換用ガイドで述べていたように、バッテリーの接続を繋げます。
- 接着剤から保護用フィルムを剥がします。

## 手順 6



- 接着剤上にしっかりとスクリーンを重ねて押し込み、固定します。
- ★ 接着力を強めるには、iOpenerを使ってディスプレイを温めます。それから数時間、上からプレッシャーを加え続けます。(重量のある本などを上に載せて、夜通しそのままにしておくとも効果があります)。